

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 225 江戸川区立篠崎中学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年		第3学年			学年		第1学年			第2学年		
年度		国語	数学	合計	年度		国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和8年度の目標		1	1	2	令和8年度の目標		2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0
令和7年度の結果		0	3	3	令和7年度の結果		-1.4	0.7	1.3	0.2	0.4	2.0
令和6年度の結果		-7	-2	-9	令和6年度の結果		-0.7	5.1	1.9	2.3	8.8	9.1
令和5年度の結果		2	1	3	令和5年度の結果							

年度	令和7年度	令和8年度	
内容	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	【成果】学力調査の結果については、国や都と比較する中で、やや高い傾向にある。 【課題】本校としての特色ある学力向上策や期学習指導要領を踏まえた学力の向上策等の実装。主体的に学ぶ態度の向上。	◎3年次国調査で全教科で都平均1ポイント上回る。 ○英語教育の充実 3年次 ESAT-J グレード「A」 ○探究学習を軸とした コンクール受賞者各学年10名以上	○躊躇なく英語が喋れる生徒の育成 イングリッシュルーム、イングリッシュタイム、イングリッシュウイーク、イングリッシュサロン等の設定 ○読書科・総合を軸とした探究的な学びの推進 個人テーマを中心とした調べ学習の設定
第1学年	【成果】R8の定期考査を踏まえ、例年と比較し、全体的に学力が高い学年であると認識している。 【課題】次期学習指導要領を踏まえた、探究的な学びや主体的に学ぶ態度の向上。	◎区調査で全教科2ポイント上回る。 ○英語教育の充実 1年次 ESAT-J「C」が10%以下 ○探究学習を軸とした 3年次 調べる学習コンクール区内受賞者各学年10名以上	○躊躇なく英語が喋れる生徒の育成 イングリッシュルーム、イングリッシュタイム、イングリッシュウイーク、イングリッシュサロン等の設定 ○読書科・総合を軸とした探究的な学びの推進 個人テーマを中心とした調べ学習の設定
第2学年	【成果】R7区調査で、国語は全国の平均正答率を1.4ポイント下回ったが、数学については0.7ポイント、英語では、1.3ポイント上回っている。 【課題】思考力・判断力・表現力等の充実 英語教育の充実	◎区調査で全教科1ポイント上回る。 ○英語教育の充実 2年次 ESAT-J「C」が10%以下 ○思考力・判断力・表現力等の充実 全教科における思考力・判断力、表現力等の育成	○躊躇なく英語が喋れる生徒の育成 イングリッシュルーム、イングリッシュタイム、イングリッシュウイーク、イングリッシュサロン等の設定 ○全教科での反転学習を取り入れた探究的な学びを推進し、生徒一人一人の学ぶ意欲の向上を図る。
第3学年	【成果】R7の国調査で、数学が東京都の平均正答率を3ポイント上回り、区調査で、英語が国の平均正答率を2ポイント上回る結果であった。 【課題】思考力・判断力・表現力等の充実	○思考力・判断力・表現力等の充実 R8国調査で、全教科における思考力・判断力、表現力等が都の平均値を上回る。	令和6～7年度については、補習教室の出席率を一義的な数値目標として掲げ、100%に近い出席率を上げてきた。令和8年度については、全教科での反転学習を取り入れた探究的な学びを推進し、生徒一人一人の学ぶ意欲の向上を図る。